



いつもご紹介ありがとうございます。



12月 紹介数

内科	41	整形外科	39	腎・透析センター	1	歯科口腔外科	8
内科 ER	154	放射線科	101	内視鏡	36	消化器内科	48
外科	45	脳神経外科	4	形成外科	5	眼科	1
泌尿器科	35	小児科	13	胸部心臓血管外科	4	乳腺外科	7
産婦人科	106	緩和ケア外科	41	循環器内科	63	呼吸内科	1
皮膚科	1	精神科	2	リハビリ科	4	合計	760

## 新年のご挨拶



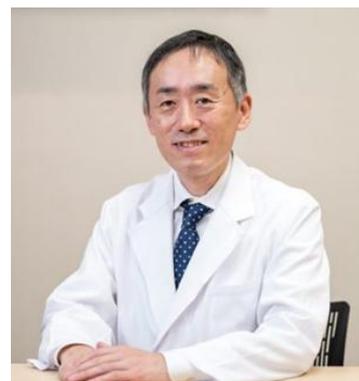
新年あけましておめでとうございます。

昨年は、物価や人件費の上昇を背景として病院の7割が赤字となる未曾有の経営危機の中で日本中の病院が苦戦した年でした。医療界あげての取り組みの結果、2026年度診療報酬改定では本体部分3.09%、薬価引き下げ分を含め全体で2.22%のプラス改定と決まりました。病院としてはホッとしたところもあり、まだまだ「焼け石に水」だとの思いもあります。

一方で医療費抑制政策の動向も気になるところです。OTC類似薬の保険適用除外は見送られましたが、2027年3月から上乗せ料金徴収の方針が決まりました。高額療養費制度の見直し案が検討されており、2027年8月までに自己負担上限額が引き上げられる見込みです。患者負担増に向かう動きにはしっかり目を向けていきたいと思っています。

さて2040年を見据えて国の示す「新たな地域医療構想」の議論が始まっています。堺圏域における各病院の役割も今後見直しが進められます。当院はこれまでと変わらず地域医療支援病院として、がん診療拠点病院として、立ち位置を固めるために急性期機能を強化していきます。その一環として放射線治療導入を柱とした急性期機能整備事業が昨年ついにスタートを切りました。本年はさらに事業のスピードを上げていきたいと思っています。

当院が目指す無差別・平等の急性期医療の実現に向けて弛むことなく尽力して参りますので、本年も引き続き当院へのご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



病院長 河原林正敏



# 肝胆膵疾患、まずはご相談ください

## ～肝胆膵外科の取り組み～

耳原総合病院 肝胆膵外科では、肝臓・胆道・膵臓に関わる疾患を対象に、専門性の高い外科診療を行っています。肝細胞癌や転移性肝腫瘍、胆管癌、胆嚢癌、膵癌をはじめ、神経内分泌腫瘍や膵嚢胞性疾患など幅広い病態に対応し、患者さん一人ひとりの病状や体力、生活背景を踏まえた治療方針を大切にしています。

当科では「安全性を第一に、できるだけ体に負担の少ない治療」を基本方針とし、腹腔鏡手術を積極的に導入しています。腹腔鏡手術は創が小さく、術後の痛みが比較的少ないことに加え、回復が早い点が特徴です。拡大視野での精緻な操作により、出血や合併症のリスク低減にも努めています。

また、術前にはCT画像をもとに三次元(3D)画像を作成し、腫瘍と血管の位置関係を詳細に評価したうえで、患者さんごとの手術シミュレーションを行っています。これにより、安全性と根治性の両立を目指した、より確実な治療計画を立てています。

地域の先生方からのご紹介に際しては、診断が未確定の段階や、手術適応の判断に迷われる症例についても、まずはご相談いただくことを歓迎しています。必要に応じて当院で精査・カンファレンスを行い、治療方針や今後の見通しについては速やかにご報告いたします。治療後は地域での診療が円滑に継続できるよう連携を重視していますので、肝胆膵領域の疾患でお困りの際には、安心してご紹介ください。

肝胆膵外科 橋田和樹



### 外科 診療体制表

	月	火	水	木	金	土
午前診療	(予) 山口拓也	*手術日 平林邦昭 (予) 碓野孝治 (乳腺甲状腺)	(予) 小田直文(乳腺)	(予) 山口拓也	*手術日	(予) 碓野孝治 (2.5) 乳腺甲状腺
	(予) 戸口景介		(予) 土居桃子	(予) 李正煜		(予) 碓野孝治(4)
	(予) 今井稔		(予) 中川朋	(予) 今井稔(1.3.5)		
				(予) 外山和隆(2.4)		
				(予) 坂本祥大		
			(予) 腫瘍内科(非常勤)			
午後診療	(予) 小田直文(乳腺)	*手術日	(予) 吉川健治(肝胆膵腫瘍)	(予) 山口拓也(A.M.7)	*手術日 (予) 乳腺・甲状腺(非常勤)	-
	(予) 中川朋			(予) 小田直文(乳腺)		
	(予) 今井稔			(予) 橋田和樹		
	(予) 麻酔科術前外来			(予) 腫瘍内科(非常勤)		
				(予) 麻酔科術前外来		
	(予) 麻酔科術前外来		(予) 麻酔科術前外来	(予) 麻酔科術前外来		

### 内視鏡検査時の「抗血栓薬休薬説明書・抗血栓薬中止の同意書」の変更について

#### ～主な変更点～

- ① 抗血栓薬休薬説明書に診療行為名と休薬する抗血栓薬の薬名、具体的な休薬期間の記載が必要になります。
- ② 抗血栓薬中止の同意書の【説明事項】に6つのチェック項目が追加されましたので、説明後に必ずチェックをお願いします。

\*詳細は、地域だよりに同封した抗血栓薬休薬説明書・抗血栓薬中止の同意書をご覧ください。具体的な休薬期間については、検査申し込み時に当院からFAXで送付する資料「抗血栓薬と術前中止期間」をご参照ください。ご不明な点あれば地域連携室までご連絡をお願いいたします。